



射水市「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、世界各地で発生している記録的な猛暑や干ばつ、熱波、集中豪雨、巨大台風等といった異常気象の背景には、地球温暖化の影響があると指摘されています。国内においても、大型の台風や豪雨による被害が多発しているほか、夏季には猛暑が連日続くなど、これまでに経験したことのない異常気象に見舞われており、本市においても市民生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。

2015年に合意された「パリ協定」では、産業革命以降の気温上昇を2℃ないし1.5℃に抑制することを長期目標とし、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることが必要とされています。このような国際的な流れを受け、国においては2020年に「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、脱炭素社会の実現に向けた政策を強力に推進していく方針を掲げており、社会全体としての取組が求められています。

本市では、射水市環境基本計画に掲げる環境像「未来につなげる豊かな自然協働で創る環境のまち いみず」を実現するため、省エネルギーの推進や再生可能エネルギー導入促進などの地球温暖化対策に取り組んでまいりました。今後は、これまでの取組を加速させ、市民、事業者及び行政が一体となり、全市的な取組を展開し、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

令和5年2月28日

射水市長

夏野元志